

「戦争被害を忘れない！」

「命ある間に伝えたい！」

오사까공습81년조선인의희생자추도집회
大阪空襲81年
朝鮮人犠牲者追悼集会

2026年
3月14日(土)

集合・受付 13:30

集会開始 14:00

参加費 ¥250 - (ピースおおさか入館料)
※65歳以上、障がい者の方は無料です
(証明するものをお持ちください)

会場 ピースおおさか入り口前
大阪府中央区大阪城2番1号

- ・Osaka Metro 「森ノ宮」 駅、1番出口から西へ200m
- ・JR 大阪環状線 「森ノ宮」 駅、北出口から西へ400m

◇プログラム

○ 追悼セレモニー

- 追悼文朗読
- 追悼メッセージ紹介
- 連帯あいさつ
- 集会宣言・採択

○ 犠牲者名前呼びかけ
(朝鮮人・中国人・米国人)

○ 献花、黙とう



大阪空襲朝鮮人犠牲者名簿



ピースおおさか 刻の庭

主催 大阪空襲 75 年朝鮮人犠牲者追悼集会実行委員会

協力団体 大阪中国人強制連行受難者追悼実行委員会

大阪空襲連合捕虜犠牲者を記憶する会

実行委員会連絡先 06-6361-5488 (空野法律事務所)

大阪空襲 81 年朝鮮人犠牲者追悼集会・趣旨文

この間、ウクライナとパレスチナ・ガザにおける戦争を目の当たりにし、戦争がいかに悲惨な結果をもたらすのかを私達は身にしみて感じている。太平洋戦争末期、大阪は米軍の50回以上の空襲によって、死者、行方不明者合計1.5万人、重軽傷者3.1万人、被災家屋34万戸、罹災者122万人にも上った。戦争の危険が遠い過去のものではなく、現に目の前で起きており、しかも核の使用の危険性までもが高まっている中で、戦争が何をもちたらずかを忘れないために大阪空襲81年朝鮮人犠牲者追悼集会を開催する。

日本は明治以降、1910年韓国併合を皮切りとして朝鮮、中国、東南アジア全域への植民地支配と侵略戦争に乗りだし、さらにドイツ、イタリアとの同盟のもとにアメリカを初めとする連合軍との全面戦争を始めた。その結果、アジアや世界の人々に甚大な被害を与えただけでなく、自国兵士の大量の戦死と、空襲による民間人の膨大な犠牲、そして国土の荒廃をもたらした。この戦争をなぜ防ぐことができなかったのかは日本国民に現在まで課せられた課題だ。

そして、戦後、空襲による民間人被害について、国は、この被害は国民が等しく受忍すべきもの、すなわち「文句を言わず耐え忍べ」として、何らの補償もせず、調査もしなかった。旧軍人軍属に60兆円を支給したのと大きな違いがある。

問題はそれだけに止まらない。1970年代以降、日本人の空襲被害については体験者が語り始め、補償を求める運動が取り組まれるようになった。しかし、朝鮮人については最近までほとんど何の取り組みもなかった。当時大日本帝国の植民地とされた朝鮮から強制連行や土地収奪の結果、日本に来て大阪に住んでいた朝鮮人の多くも空襲被害にあった。当時在阪朝鮮人は大阪府の人口の約8%も占めていた。

その歴史の空白を埋めるために2019年から私たちの取り組みは始まった。ピースおおさかの刻の庭には約9千名の犠牲者の名前が記録されているが、その中で朝鮮名で記録されているのはわずか24名程度。人口の8%が朝鮮人で、700名あまりの犠牲者が記録されていてもおかしくないが、あまりにも朝鮮人名の犠牲者は少ない。こうした中調査を進めていくと、親族が空襲で犠牲者となりながら通名で記録されている人の存在が分かった。当時の日本政府が植民地支配を徹底するために採用した創氏改名政策の結果だった。当時ほとんどの朝鮮人は日本人風の通名に変えさせられ、犠牲者名も通名で記録されているためであったと考えられる。

私たちは、ピースおおさかに対して、通名で記録された者を本名で記録し直すこと、そして、創氏改名にかかわる歴史の解説展示の設置を求めた。その結果一部本名での記録が実現した。この点は評価するが、創氏改名の解説展示の設置はまだ受け入れられておらず、引き続き要請したい。

大阪空襲では、日本人朝鮮人だけではなく、連行された中国人や連合軍捕虜としてのアメリカ人捕虜も犠牲となった。この間の取り組みを通じて、同じく大阪空襲で被害に遭った中国人や連合軍捕虜の追悼も一緒に行うこととなった。それぞれ犠牲となった経緯は異なるが、戦争はあらゆる人々を無差別に破壊するものだから、戦争による犠牲を生み出さないため犠牲となった全ての人々を追悼することには大きな意味があると思う。

私達は、ピースおおさかに対して、ピースおおさか主催の全ての犠牲者の追悼集会開催を要請してきたが、現在、実現していない。そこで、ピースおおさかの取り組みとは別に私達が本集会を開催する。

この大阪空襲における朝鮮人、中国人、連合軍捕虜の犠牲については、日本の植民地支配や侵略戦争に巻き込まれて被害に遭い、異国の地で犠牲となったわけだから、日本の加害の歴史の一部として見る必要があるのではと思う。

実行委員会は調査を継続して記録に残していきたいと考えている。それが再び戦争による悲惨な被害の発生を防止することにつながるものと思う。

主 催 大阪空襲75年朝鮮人犠牲者追悼実行委員会

協力団体 大阪中国人強制連行受難者追悼実行委員会、大阪空襲連合軍捕虜犠牲者を記憶する会

2025年12月

【年別取り組み】

- 2019年1月、「大阪空襲75年朝鮮人犠牲者追悼集会実行委員会」結成
- 大阪空襲75年朝鮮人犠牲者追悼集会：2020年に開催する予定だったが、新型コロナウイルス防疫のため中止
- 大阪空襲76年朝鮮人犠牲者追悼集会：2021年3月13日 PLP会館（大阪市北区）参列者141名
 - － 記念講演「本名で追悼すること—朝鮮植民地支配と創氏改名」水野直樹（京都大学名誉教授）
 - － ピースおおさか「刻の庭」の銅板に記載されている通名を本名記載に変更するよう当実行委が協力し金禎文さんが申し入れた。
- 大阪空襲77年朝鮮人犠牲者追悼集会：2022年3月13日 PLP会館（大阪市北区）参列者90名
 - － 空襲体験談・鄭末鮮さん／冊子「大阪空襲と朝鮮人そして強制連行」発刊、著者は当追悼集会実行委の塚崎昌之
- 大阪空襲78年朝鮮人犠牲者追悼集会：2023年3月12日 東大阪市リージョンセンター 参列者119名
 - － 劇団タルオルムによる演劇「キャンパー」上演（鄭末鮮さんの体験を基にした創作劇）
- 大阪空襲79年朝鮮人犠牲者追悼集会：2024年3月13日 ピースおおさか前広場 参列者71名
 - － この年から大阪中国人強制連行受難者追悼実行委員会、大阪空襲連合軍捕虜犠牲者を記憶する会が協力団体として加わる。朝鮮人、中国人、連合軍捕虜の大阪空襲犠牲者の名前を代表者数名が読み上げた。
- 大阪空襲80年朝鮮人犠牲者追悼集会：2025年3月13日 ピースおおさか前広場 参列者119名
 - － 朝鮮人、中国人、連合軍捕虜の大阪空襲犠牲者の名前の「読み上げ」から参列者全員による犠牲者一人一人の名前の「呼びかけ」に変えて実施。大阪城公園内にある大阪陸軍造兵廠の銘板の解説（当実行委 空野佳弘）